



## ひらまつの杜 法人理念 「鎮守の森を保育の庭に」

・四季折々の豊かな自然がある環境の中で自然と共に生きる気持ちを大切に感じる心を育むこと

## 保育理念 「つなぐ」 過去・現在・未来を

・ひとりひとり自分らしさを十分に発揮し、自らの夢や希望を大切にし、希望をもって夢を実現できる社会を共に創造していく

寒中お見舞い申し上げます。年明け早々、東北にある食品加工会社が10年以上前から、大手コンビニなど全国で販売された味付ゆで卵に使用が禁止されている劇薬をカビ抑制のために使用していたと報道がありました。

自社の食品をご自分の大切なご家族に提供できるでしょうか？

ひらまつの杜では、食の大切さ(私たちの人間の身体は口から入る物でしか造ることは出来ない) これまでもこれからも伝えていきます。

ニワトリは産んだ卵を温めてヒナをかえそうと卵を産みます。その卵が無くなったらまた産みます。私たちのために卵を産んでいるのではなく自分の子どもを産んでいるのです。まさに“命をいただきます”ですね。 園長 日高 節子

### 2月 行事予定

1	水	神社参拝 英会話	17	金	おべんとうの日
2	木		18	土	マラソン大会
3	金	節分	19	日	
4	土		20	月	
5	日		21	火	
6	月		22	水	誕生会
7	火		23	祝	☞天皇誕生日
8	水	英会話	24	金	スイミング
9	木		25	土	マラソン大会予備日
10	金	スイミング	26	日	
11	祝	☞建国記念日	27	月	避難訓練
12	日		28	火	
13	月				
14	火				
15	水				
16	木	神社参拝 身体測定			

### 〇鏡開き

1月11日は、お正月、年神様にお供えしていた鏡餅を下ろして食べる行事です。鏡もちをそのまま食べることはできませんので、切りたいところですが、「切る」という行為は縁起が悪く、年神様との縁が切れませんようにといった思いも込め、木槌や手で小さく割ってからいただきます。

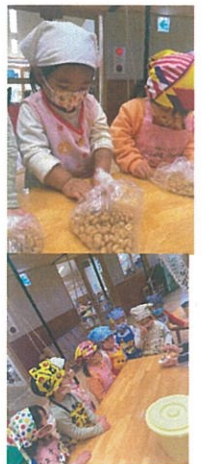
園では、きりん組さんが、木槌で鏡もちを割ってくれました。

子どもたちは、お餅つきをして、お餅を丸めていますので、お餅の柔らかさを知っています。すぐ割れるだろう～。いざ!!! 木槌で、交代交代に鏡もちを叩きます。あれ? なんで? 鏡もちがドンと腕組みをしてすわっているかの様。ヒビさえ入りません。そうきたら、鏡もちさんときりん組さんの「力くらべ」です。きりん組さんのみんなの力を合わせると少しずつヒビが入ってきました。ヒビが入ったら、あとは、少しずつ手で砕いていきました。子どもたちは、小さくなった鏡もちを見て、達成感と喜びを感じていました。おやつのでんざいに入れて、美味しくいただきながら、無病息災を願いました。



### 〇味噌づくり

ひらまつ杜の給食で使う味噌は、子どもたちの手作りで。大豆を煮て、大豆を子どもたちの手でつぶします。大豆をつぶす感触がみんな大好きで、一粒一粒丁寧につぶしていくもいれば、手をグーにして、ドンドンと叩きつぶす子もいます。細かくつぶれたら、麴と塩を混ぜ、大豆の茹で汁を少し入れて団子状にし、味噌樽に、投げ入れられます。投げ入れる事で、空気が抜けて雑菌が入りにくくなります。味噌樽のなかで、2カ月程、ゆっくり眠って発酵すると味噌の完成です。手作りの味噌は、「おいしいな〜れ!」の魔法と子どもたちの愛情たっぷりです。美味しいです。手作りの味噌。塩分なども調節できるので、おすすめです。



### 〇日本の伝統あそび

お父さん、お母さんは、けん玉や糸引きコマで遊んだことはありますか? 園に、木製のけん玉と糸引きコマが仲間入りしました。けん玉は、腕だけの振りではなかなか玉が剣先や皿のところには到達しません。足をつかったり、玉を回転させ、安定したところで引き上げる! のがコツです。

糸引きコマは糸の巻き方が重要! きつく巻き、コマを遠くに投げたと共にすぐに糸を引く! のがコツです。子どもたちは、成功させたい一心で、コツを自分のものにながら、頑張っていますが、その姿を見て、保育士も負けていられないと一緒に練習していますよ。子どもたちの糸引きコマの成功率が少しずつ上がってきました! 子どもたちから、「できた!」という言葉が聞かれましたら、ぜひ、お迎えの際などに見てあげてください。そして一緒に挑戦してみませんか?



### 〇マラソン大会に向けて

2月18日(土曜日)はマラソン大会です。寒さに負けない丈夫な体を作り、最後まで走り抜ける気持ち良さや楽しさを感じるというねらいの基に、みんなで頑張っています。園の周りを走ります。ひよこ組1歳児とうさぎ組さんは1周、りす組さんは2周、きりん組さんは3周を走ります。1周、約250メートルで、アップダウンがあります。順位ではなく、自分のペースで最後まで走ることが大切だということを子どもたちに話しています。きつくても、お友だちや保育士の「頑張れ!」という声にパワーをもらい、走っています。マラソン大会当日は、感染対策を行いながら、たくさんの方の拍手や応援をお願い致します。

